



蚊に刺されないようにしましょう

千葉県医師会理事

西牟田 敏之 医師



本格的な蚊のシーズンになりました。去年ブラジルでオリンピック・パラリンピックが開催された時、現地で蚊に刺されてジカ熱に罹らな
いか心配されました。日本の国内には無くても、アフリカ、アジア
の熱帯・亜熱帯地域、南太平洋地域、中南米で流行していて、流行地
に旅行や滞在した人がネッタイシマカに刺されて感染する危険があり
ます。感染した人が帰国して、日本にいるヒトスジシマカに刺される
と、その蚊を介して他の人に感染が広がる可能性があります。この
ような蚊媒介感染症は、ジカ熱と同じネッタイシマカにより媒介され
るデング熱、チクングニア熱などのウイルス感染症があります。国
内での感染を防ぐには、ヒトスジシマカの発生を少なくすることです。
幼虫は、植木鉢やプランターの受け皿、ペットボトル、ビニールシー
トなどにできた小さな水溜りで育ちますので、地域の皆さんが住宅
周辺の整頓をして、水溜りを無くすことが効果的です。
流行地で、マラリア原虫をもったハマダラカに刺されて感染するマ
ラリアにも注意が必要です。日本脳炎はアジアで広く流行しており、
日本脳炎ウイルスを保有しているブタから蚊によって人に伝播しま
す。日本では予防接種によって発生数は著しく減少しましたが、ブタ
の飼育が盛んで、コガタアカイエカが発生しやすい水田のある地域で
は、発症がありますので注意が必要です。日本脳炎は予防接種で感
染を防ぐことができます。千葉県で乳児の発症が認められたことか
ら、通常の初回接種時期である3〜4歳を待たずに、6か月を過ぎ
たら接種を開始することを推奨します。

目次

特集

誰にでも起こりうる
「パニック障害」を正しく知ろう 1

スポーツコーナー
夏のだるさをグルグル体操でリセット! 5

新 風—千葉県の医療情報紹介—
病があっても、より良く生きるために
発展した緩和ケアの今 6

アスリートに聞く! ~スポーツとカラダづくり~
障害馬術選手
福島 大輔さん 8

からだのソラシド♪ マナボっと
アレルギーを正しく理解!
命にかかわるアナフィラキシーを知ろう 10

こども相談室
乳児の熱中症について 13

千葉県インフォメーション
・訪問看護サービスで安全で安心な
在宅での生活
・梅毒患者が増加しています
・薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」 14

こころの健康
こどもの心と大人の社会
その3 親の精神障害と虐待 16

元気からだ! Q&A
脳梗塞について 17

旬食野菜クッキング
ちばの夏色野菜ジュレ 18

医師会インフォメーション
間違い探しクイズ、プレゼント 他 21